

多様な主体の参加による不耕作地の湿地環境としての再生利用

不耕作地の湿地環境としての再生利用事業は、現在は2～3の市民団体の協力者と職員で、里道整備、水路堀りや水田造成などの作業を実施している。この事業の中で不耕作地を湿地環境として再生利用する際の進め方やその効果などを明らかにしていく。

1. 場所

神戸市北区山田町小河字灰床の不耕作地 約35a



出典：国土地理院ホームページ
(<http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/index.html#zoom=15&lat=34.75084&lon=135.10119&layers=BTTT>)

2. これまでの実施状況

23年	4～5月	土地使用にあたっての手続き及び地元・水利権者への説明
	5月	基盤整備（里道整備、間伐、水田・水路の造成）
	6月	田植え
	7月	(希少種情報のため非公開)
	8月	生物調査
	10月	生物調査
24年	11月	稲刈、市民向け観察会の開催
	3月	生物調査
	6月	田植え、市民向け観察会の開催
	9月	市民向け観察会の開催
25年	10月	生物調査
	3月	生物調査
	6月	田植え、市民向け観察会の開催
	8月	生物調査
	9月	市民向け観察会の開催
26年	11月	稲刈
	3月	生物調査

3. 生物調査結果

夏季（8月）・冬季（3月）に生物調査を実施。事業三年目に入り、確認種の増加する分類群もみられた。しかし初年度に比べ（希少種情報のため非公開）は減少し、（希少種情報のため非公開）は確認できなかった。

確認種数（動物）

		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	その他	合計
夏季	23年度	1	5	4	4	3	65	2	84
	25年度	2	8	1	3	2	32		48
秋季	23年度		8	2	4	1	40		55
	24年度		10	2	4	3	32		51
冬季	23年度		12		2				14
	24年度	1	8		1	1	1	1	13
	25年度		5		3	1		1	10

確認種数（植物）

		シダ植物	種子植物				合計
			裸子植物	被子植物			
				双子葉植物		単子葉植物	
				離弁花類	合弁花類		
夏季	23年度	16	1	87	49	26	179
	25年度	20	3	94	56	31	204
秋季	23年度	14	2	73	41	25	155
	24年度	19	2	90	54	41	206

確認種のうち希少種および注意すべき外来種（動物）

分類	科名	種名	希少性等		
			神戸市	兵庫県	環境省
（希少種情報のため非公開）					

(希少種情報のため非公開)

- ※ 神戸市及び兵庫県のBは環境省の「絶滅危惧Ⅱ類 (VU: 絶滅の危険が増大している種)」に相当
- ※ 神戸市及び兵庫県のCは環境省の「準絶滅危惧 (NT: 存続基盤が脆弱な種)」に相当
- ※ 調: 要調査種。環境省の「情報不足 (評価するだけの情報が不足)」に相当
- ※ 注: 要注目種 ※ BL: ブラックリスト選定種
- ※ 特定外来: 外来生物法に基づく特定外来生物、要注意: 外来生物法に基づく要注意外来生物
- ※ 網掛けは25年度調査で確認されたもの

確認種のうち希少種および注意すべき外来種 (植物)

分類	科名	種名	希少性等		
			神戸市	兵庫県	環境省
(希少種情報のため非公開)					

- ※ 希少性等は動物と同様
- ※ (希少種情報のため非公開)
- ※ 植物は神戸市のブラックリスト及び外来生物法に基づく特定外来生物、要注意外来生物に指定された種はなかった。
- ※ 網掛けは25年度調査で確認されたもの



平成25年6月29日 市民向け観察会の様子
黒米の苗で田植えを体験。



平成25年9月21日 市民向け観察会の様子
(希少種情報のため非公開)を確認。

4. 今後の進め方

本事業は神戸プランの重点事業として平成 23 年度から平成 27 年度の 5 年間実施することとしている。平成 26 年度・27 年度にその成果を取りまとめ、不耕作地の管理を行う際に、生物多様性を向上させる面から有効な手法として広く紹介することにより、田園地域における生物多様性の保全・再生を推進していく。

※取組の詳細を、ホームページに掲載

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/environmental/tayosei/denen.html>